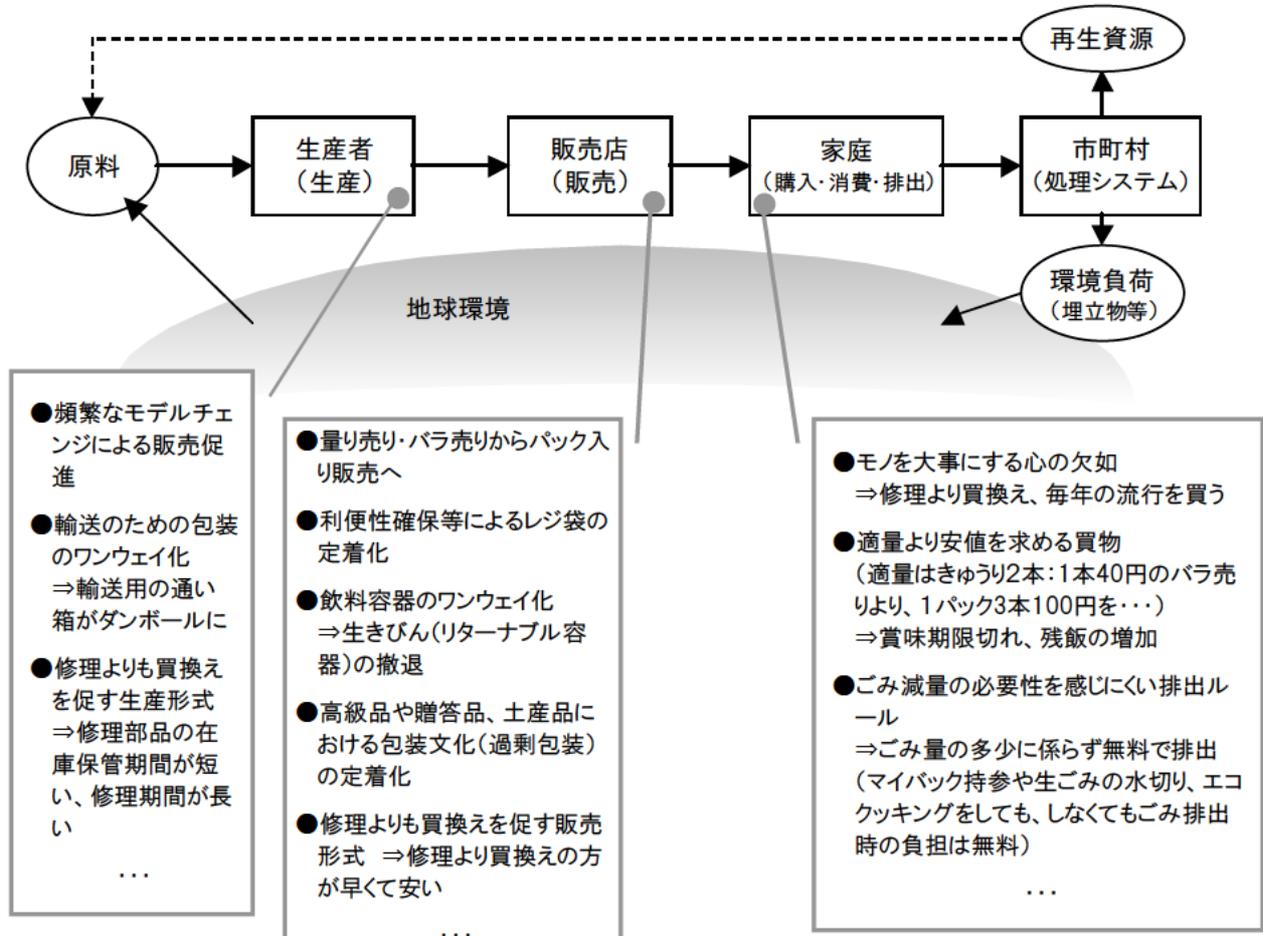


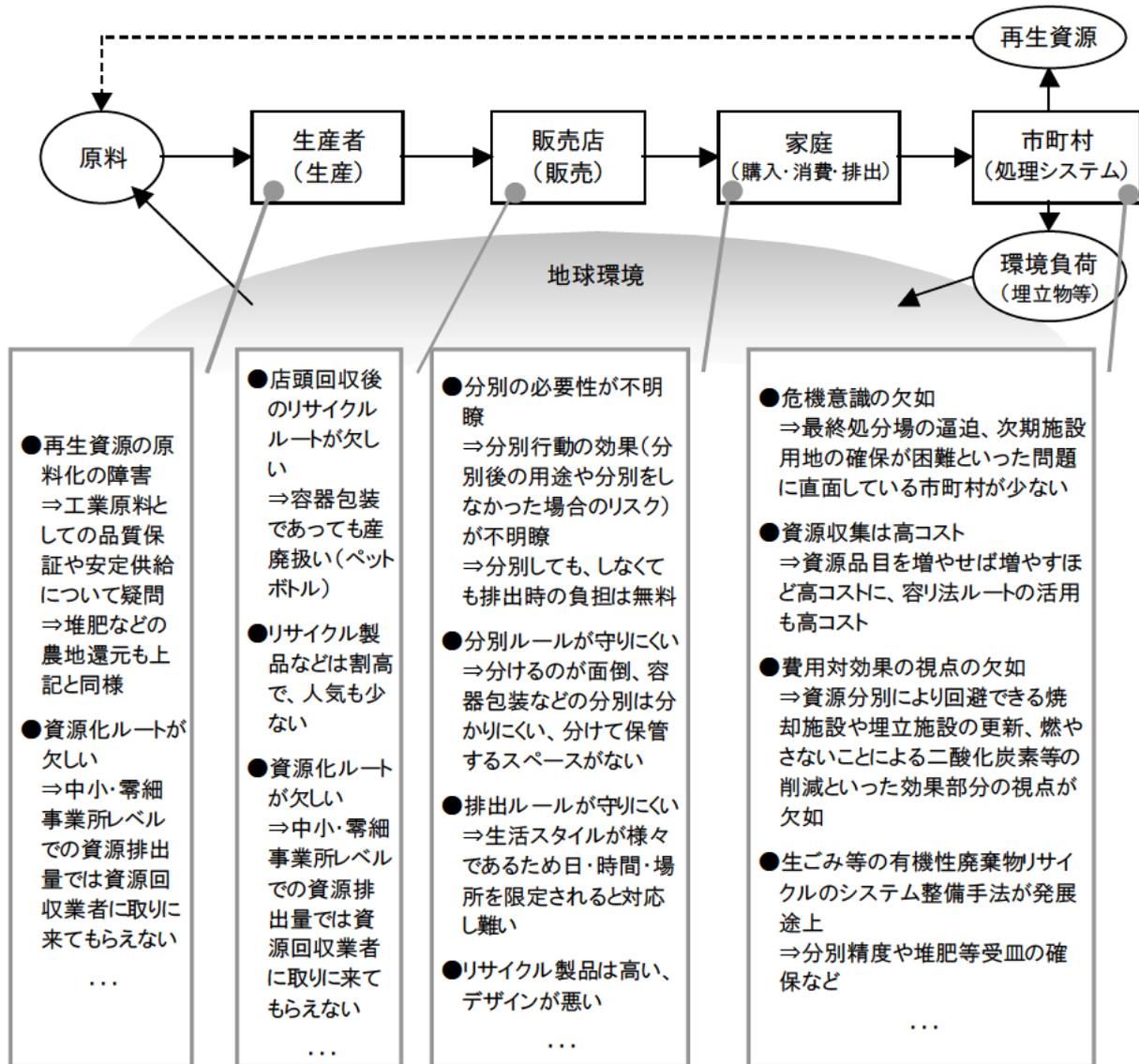
5. 参考資料

① モノの流れからみたごみ量増加の要因 ～グループ会議資料(8/18)より

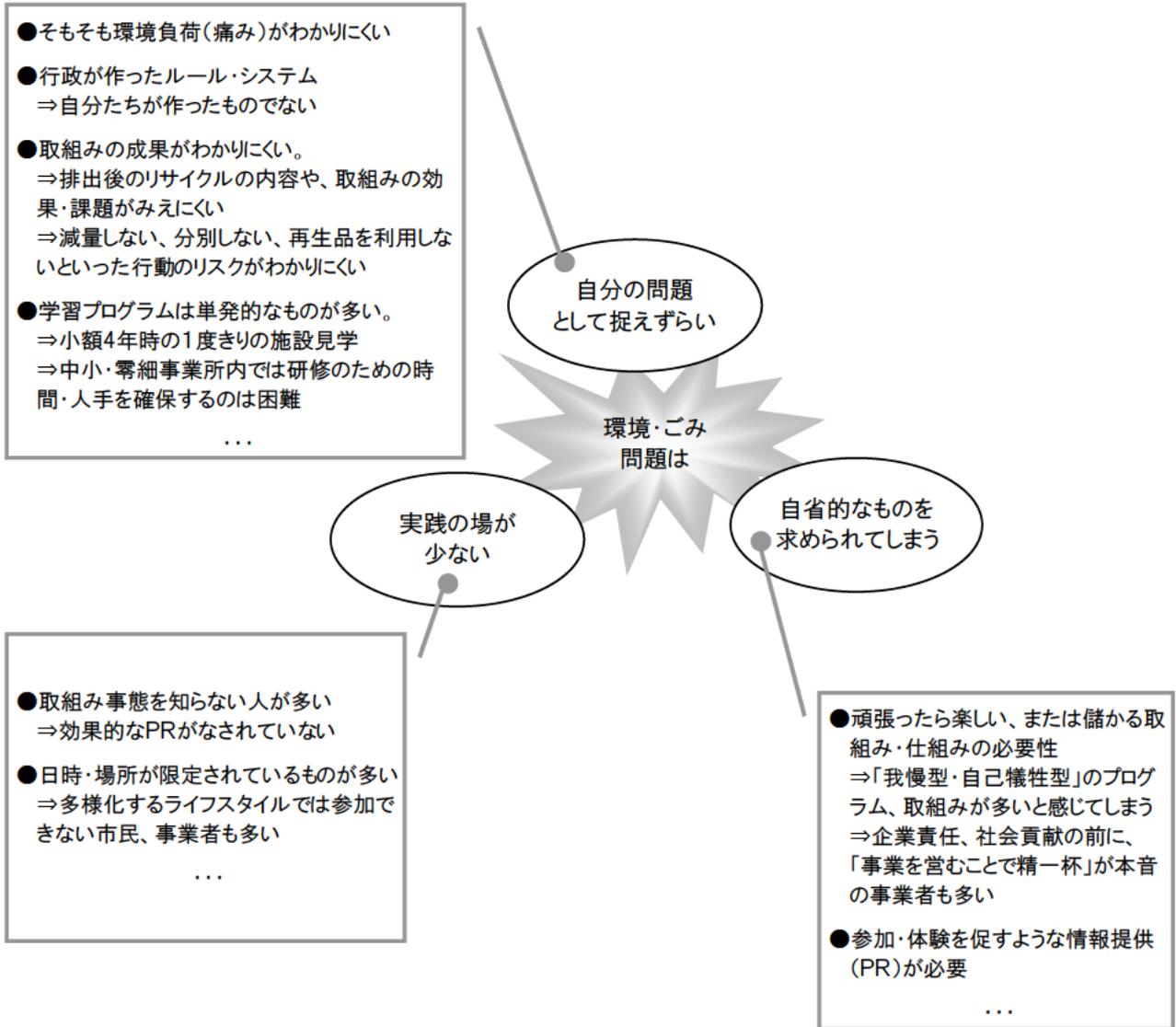
a) 発生・排出抑制



b) 再資源化



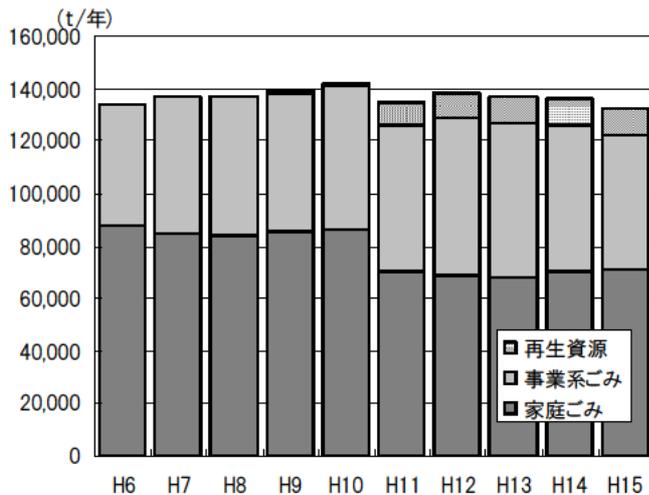
c) 環境学習・県民参画 ～人材育成・地域リーダー育成～



② 奈良市への取材結果 ～グループ会議資料(8/23)より

〈ごみ量の推移〉

年度	人口 (人)	ごみ 総量 (t)	家庭系(t)					事業系(t)				再生資源						
			可燃 ごみ	不燃 ごみ	大型 ごみ	有害 ごみ	埋立	小計	可燃 ごみ	不燃 ごみ	埋立	小計	空き缶	ガラスび ん	ペット ボトル	紙パック	その他プ ラ	計
H6	358,985	133,949	60,158	16,366	11,238	194		87,956	41,140	4,853		45,993						
H7	362,136	136,674	60,989	16,473	7,439	88		84,989	45,887	5,798		51,685						431
H8	363,560	136,692	62,944	17,146	3,598	6		83,694	47,438	5,560		52,998						486
H9	364,357	138,499	64,212	17,038	3,821	3		85,075	46,770	6,653		53,424						515
H10	365,991	140,996	64,284	17,625	4,103	0		86,012	48,758	6,226		54,984						597
H11	367,689	125,706	58,165	7,897	4,129	6		70,197	49,577	5,932		55,509	592	2,294	361	146	5,565	8,957
H12	367,745	128,663	57,061	5,735	4,366	5	1,832	68,999	53,237	5,534	894	59,665	938	2,548	350	104	6,017	9,957
H13	367,284	126,561	56,961	5,392	3,805	5	2,009	68,172	52,779	4,920	690	58,389	929	2,498	440	126	6,249	10,242
H14	366,492	125,765	58,677	5,700	3,905	11	1,787	70,080	50,903	4,151	632	55,685	881	2,281	474	121	6,269	10,026
H15	366,295	121,999	58,992	5,629	4,234	2	1,860	70,718	47,637	3,144	500	51,281	836	2,318	475	112	6,491	10,232



〈取材結果〉

資源分別回収の実施

- H11年3月より、資源分別回収を全市的に実施した。(それまでは集団回収)
- 事前準備として、平成10年度に、「一部地域でのモデル事業」「自治会役員への説明会開催」「町内会の要望に応じた住民説明会の開催」を実施した。
- また、実施年度には、地区役員と市職員が集積所に立会い、分別排出の指導を行った。
- 周辺市町村から、奈良市分のごみが流れているという情報(苦情)はきていない。

事業系ごみ対策

- 事業系ごみも減量傾向を示しているが、これは、施設搬入時の立会指導を継続的に行っていることの効果と認識している。

まとめ

- 奈良市の減量効果は、以上のような『顔の見える指導』によるものである。紙面での情報発信・指導では、期待する効果は得られない。
- 現在は、H11以降、ごみ量が横ばいで推移しているため、さらなる減量策の検討に力を入れている。